

プログラムB ミニマムリクワイアメント

総合歯科臨床研修(九州大学病院・口腔総合診療科、口腔画像診断科)・協力型(I)臨床研修施設研修

	到達目標	研修内容	必要症例数	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
			Bプログラム		
	医療コミュニケーションを実践する	1. 医療面接 (初診)	3症例	上級歯科医・指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の指導の下、治療を行う。(患者配当型)各診療科の指導歯科医は、研修歯科医の進捗状況を把握し、指導歯科医等の患者の症例を配当する。(症例配当型)	目標達成の基準として、合計60例以上経験していることが必要。各研修内容ごとに必要症例数を達成していることが望ましい。
	患者及び家族の自己決定を尊重する(インフォームドコンセントの構築)				
	基本的診察・検査を実践し、解釈する	1. 診査・診断 (初診・再診)	3症例		
	得られた情報から診断し、一口腔単位の治療、計画を作成する				
	エックス線撮影により得られた所見を判断する	1. パノラマ・口内法撮影	3症例 (撮影:1症例必須)		
		2. パノラマ・口内法読影			
	応急処置の基本的な処置を実践する	1. 応急処置	1症例		
	歯科疾患予防のための口腔衛生指導、基本的手技を実践する	1. 口腔衛生指導・予防処置	5症例		
	う蝕の基本的な治療を実践する	1. レジン充填	3症例		
		2. インレー修復			
	歯髄疾患の基本的な治療を実践する	1. 抜髄処置	3症例		
		2. 感染根管処置			
	歯周疾患の基本的な治療を実践する	1. 歯周組織検査	5症例		
		2. ブラッシング指導	5症例		
		3. スケーリング・SRP	5症例		
		4. 歯周外科治療の補助(講義を含む)	1症例		
		5. メンテナンス・SPT	5症例		
	補綴処置の基本的な手技を実施する	1. クラウン	3症例		
		2. ブリッジ			
		3. 部分床義歯	3症例		
		4. 全部床義歯	2症例		
	外科処置の基本的な手技を実践する	1. 抜歯	1症例		
		2. その他の外科処置			
	周術期口腔機能管理を実践する	1. 周術期口腔ケア	3症例		
	歯科訪問診療を体験する	1. 歯科訪問診療(協力型(I)臨床研修施設)			
	歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する	1. 全身状態の確認	1症例		
	診療に関する記録や文書(診療録、処方箋、歯科技工指示書)を作成する	1. 診療に関する文書作成	1症例		
	患者の医療情報について、必要に応じて主治医と診療情報を共有する	1. 他科との診療情報の共有	1症例		
	各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する	1. 患者の年齢と全身状態を考慮した歯科診療の実施	1症例		
	多職種によるチーム医療についてその目的、各職種の役割を理解し、連携を図る。	1. 多職種チーム医療	1症例		
	地域医療を実践する	1. 地域医療(協力型(I)臨床研修施設)	1症例		

A1,A2,Bプログラム 共通	医療安全対策を実践する	1. 医療安全	研修会に2回以上出席
	院内感染対策を実践する	1. 院内感染対策	研修会に2回以上出席
	地域包括ケアシステムについて理解し、歯科医療の役割を説明する。	1. 地域包括ケアシステム	関連講義に1回以上出席
	地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、地域歯科保健活動を理解する。	1. 地域歯科保健活動	
	医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解する	1. 保険診療の実施	関連講義に1回以上出席

プログラムB ミニマムリクワイアメント 全身管理研修(口腔外科病棟)

	到達目標	研修内容	必要症例数	研修歯科医の 指導体制	修了判定の 評価基準
			Bプログラム		
	入院患者の検査および診察を行う(術前、術中、術後の全身状態を評価する)	1. 医療面接・診査	1症例	上級歯科医・指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の指導の下、治療を行う。(患者配当型) 各診療科の指導歯科医は、研修歯科医の進捗状況を把握し、指導歯科医等の患者の症例を配当する。(症例配当型)	目標達成の基準として、合計8例以上(口腔外科病棟、高齢者歯科・全身管理歯科)経験していることが必要。 各研修内容ごとに必要症例数を達成していることが望ましい。
	入院患者の病棟処置および全身管理を行う	1. 全身管理	1症例		

全身管理研修(高齢者歯科・全身管理歯科)

	到達目標	研修内容	必要症例数	研修歯科医の 指導体制	修了判定の 評価基準
			Bプログラム		
	有病者・高齢者の検査および診察を行う	1. 医療面接・診査	2症例	各診療科の指導歯科医は、研修歯科医の進捗状況を把握し、指導歯科医等の患者の症例を配当する。(症例配当型)	目標達成の基準として、合計8例以上(口腔外科病棟、高齢者歯科・全身管理歯科)経験していることが必要。 各研修内容ごとに必要症例数を達成していることが望ましい。
	有病者・高齢者の歯科治療に必要な知識・技能を習得する	1. 全身管理	2症例		
	歯科治療時の全身管理を実践する	2. モニター等管理			
	周術期患者の口腔状態の評価と口腔機能管理を実施する	1. 周術期口腔ケア	2症例		